

令和元年度「大気環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

	推薦者	団体	個人	主な功績
1	北海道		アキヤマサユキ 秋山 雅行	平成元年に北海道庁の研究所に入所して以来、30年に亘り大気環境の研究業務(特にPM2.5を中心とした粒子状物質など)に従事してきた。また、これまでに国等の委員会等への参画のほか、全国環境協議会や国立環境研究所との連携において、Ⅱ型共同研究での北海道・東北・北陸ブロック長を務めるなど、全国の環境研究推進に対して尽力している。
2	鹿児島県		ヤブヘイテロウ 藪 平一郎	鹿児島県入庁から退職するまで長年にわたり環境保全行政に精力的に取り組み、本県の環境保全行政の推進に大きく貢献するとともに、近年の新たな大気環境問題への対応に尽力した。 特に、環境保健センターにおいては、国立環境研究所との共同研究で光化学オキシダントの挙動解明に関する研究に取り組んでおり、その研究成果は本県のみならず、全国の大気汚染に係る調査・研究の基礎となっている。また、大気測定局が設置されていない屋久島における大気環境調査や、酸性降水物の調査など、常に先進的な調査・研究に取り組んできた。 環境保全課長就任時も、新燃岳の噴火に伴う大気測定車による火山ガス等の測定や、微小粒子状物質(PM2.5)の常時監視及び県民への周知に積極的に取り組むなど、本県の大気保全行政における功績は多大である。 県を退職した現在も、地球温暖化に関する普及啓発や教育等、環境保全活動の支援などに尽力しているところである。
3	神戸市		イチカワ ヨウイチ 市川 陽一	平成25年に神戸市環境影響評価委員会の委員就任以降、専門分野である大気環境工学に係る分野を中心に、環境保全の観点から必要な事前配慮や環境影響評価、事後調査に関する基本的事項ならびに重要事項を審議いただき、有益かつ先見的な助言を頂いている。

団体 0

個人 3

合計 3